

株式会社あらた

**2019年3月期 第2四半期
決算説明会**



○売上増加 経常利益減益

売上高：前年比 3.1%増

- ・ドラッグストア業態の売上増加
- ・ヘルス&ビューティ、家庭用品等における売上増加
- ・台風、猛暑など異常気象による季節品の売上不振

営業利益：前年比 0.1%増

- ・粗利率の高い季節品の売上不振

経常利益：前年比 3.5%減

- ・コミットメントラインの設定による費用
- ・公募増資、転換社債の発行費用

連結損益計算書



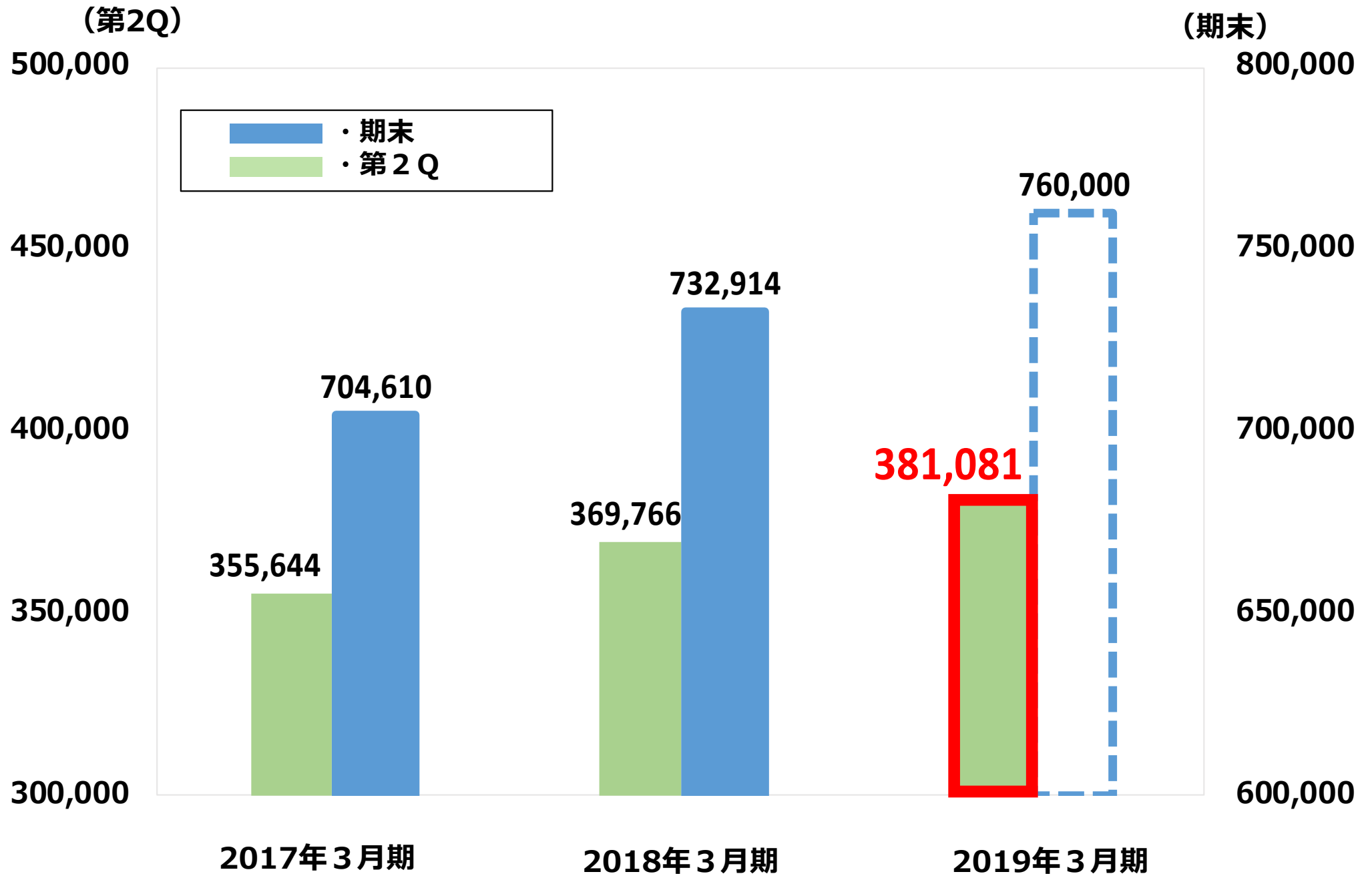
(単位：百万円)

	2018年3月期 第2Q	2019年3月期第2Q 実績		2019年3月期第2Q 予想	
		金額	前年比 (%)	金額	予想実績比 (%)
売上高	369,766	381,081	103.1	385,000	99.0
売上総利益	38,265	39,204	102.5	—	—
販管費	33,792	34,725	102.8	—	—
営業利益	4,473	4,478	100.1	5,000	89.6
経常利益	4,844	4,673	96.5	5,200	89.9
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,231	3,332	103.1	3,400	98.0

売上高推移グラフ



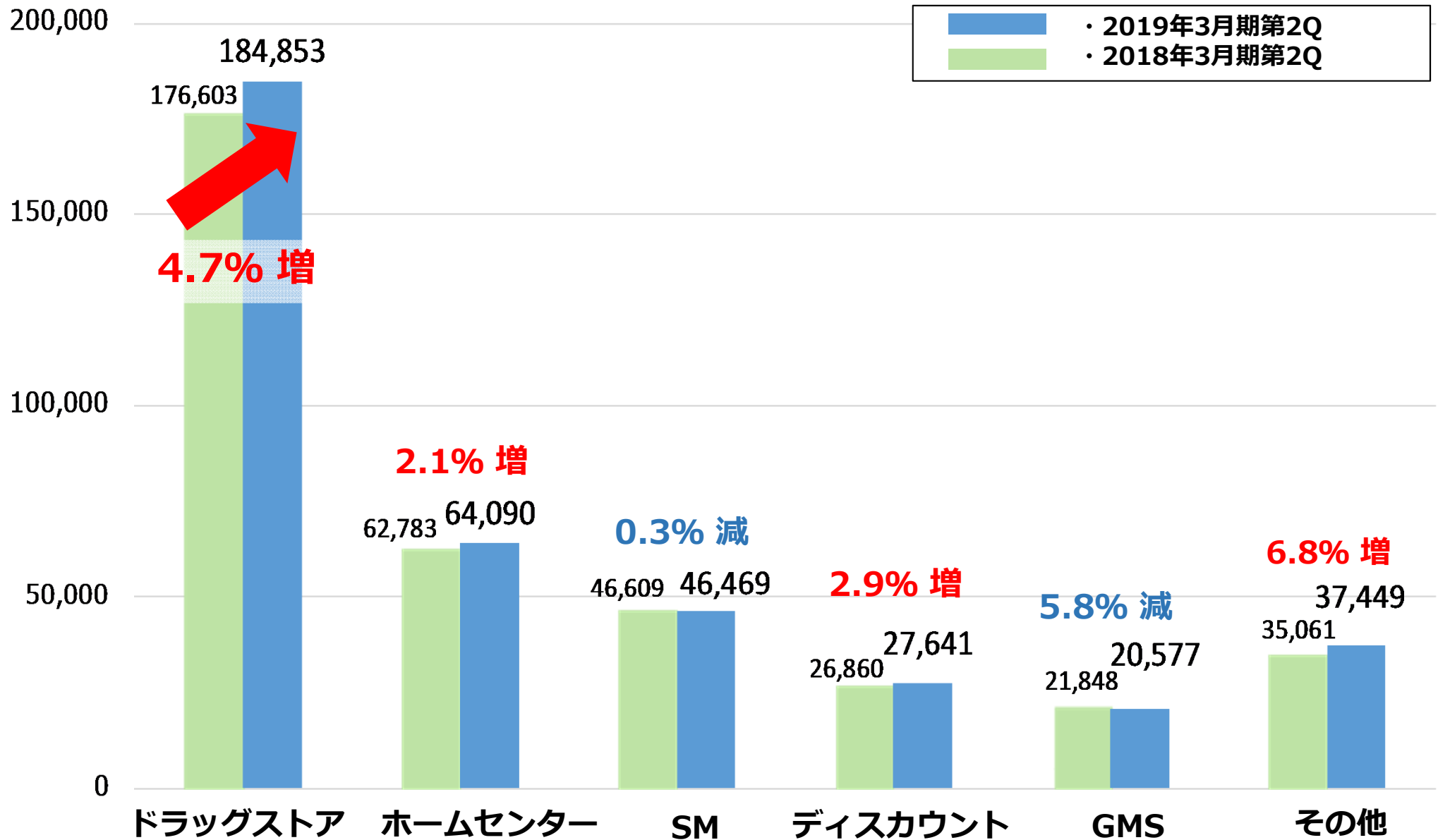
(単位：百万円)



業態別売上高（前年比較）



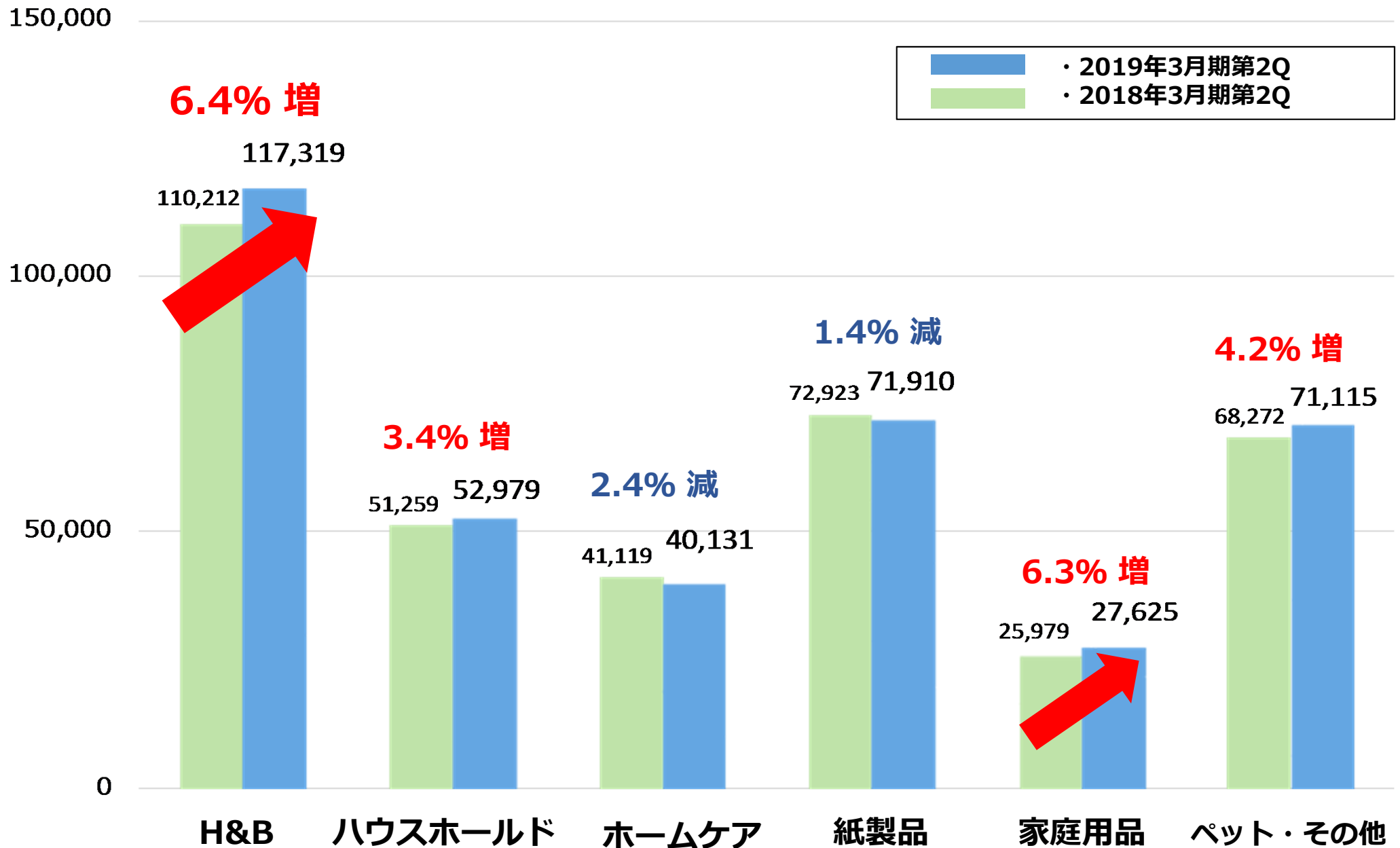
（単位：百万円）



カテゴリー別売上高（前年比較）



（単位：百万円）



連結貸借対照表

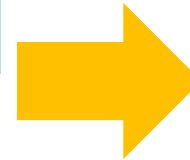


2018年3月期末 (単位：百万円)

流動資産 171,256 70.3%	流動負債 145,831 59.9%
受取手形 及び売掛金 97,321	支払手形 及び買掛金 89,112
在庫 29,997	短期借入金 31,869
	固定負債 26,394
	社債 10.8% 424
	長期借入金 11,347
固定資産 72,442 29.7%	純資産 71,472 29.3%
総資産 243,698	

2019年3月期第2Q (単位：百万円)

流動資産 178,455 71.2%	流動負債 137,430 54.8%
受取手形 及び売掛金 103,200	支払手形 及び買掛金 88,552
在庫 30,504	短期借入金 24,521
	固定負債 34,039
	社債 13.6% 6,307
	長期借入金 13,014
固定資産 72,311 28.8%	純資産 79,296 31.6%
総資産 250,766	



受取手形及び売掛金：前期比 106.0%
有利子負債：前期比 201億円 増加

支払手形及び買掛金：前期比 99.4%
純資産：前期比 78億円増加



【前期末比較】 自己資本比率31.6% (+2.3P)

【前年同期比較】 DER：0.55 (-0.21)

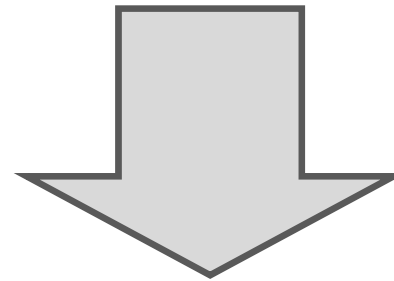


下期計画



利益貢献の高い商品の拡売

生産性の改善




営業利益 97億円

経常利益 100億円



中期経営計画の進捗



2019年4月に  株式会社ファッションあらた を吸収合併

高単価商品拡大による利益貢献

専門性の高い営業力・幅広い品揃え

今後も期待できるインバウンド需要

化粧品拡大の潜在性がある業態への提案強化

合併による相乗効果で

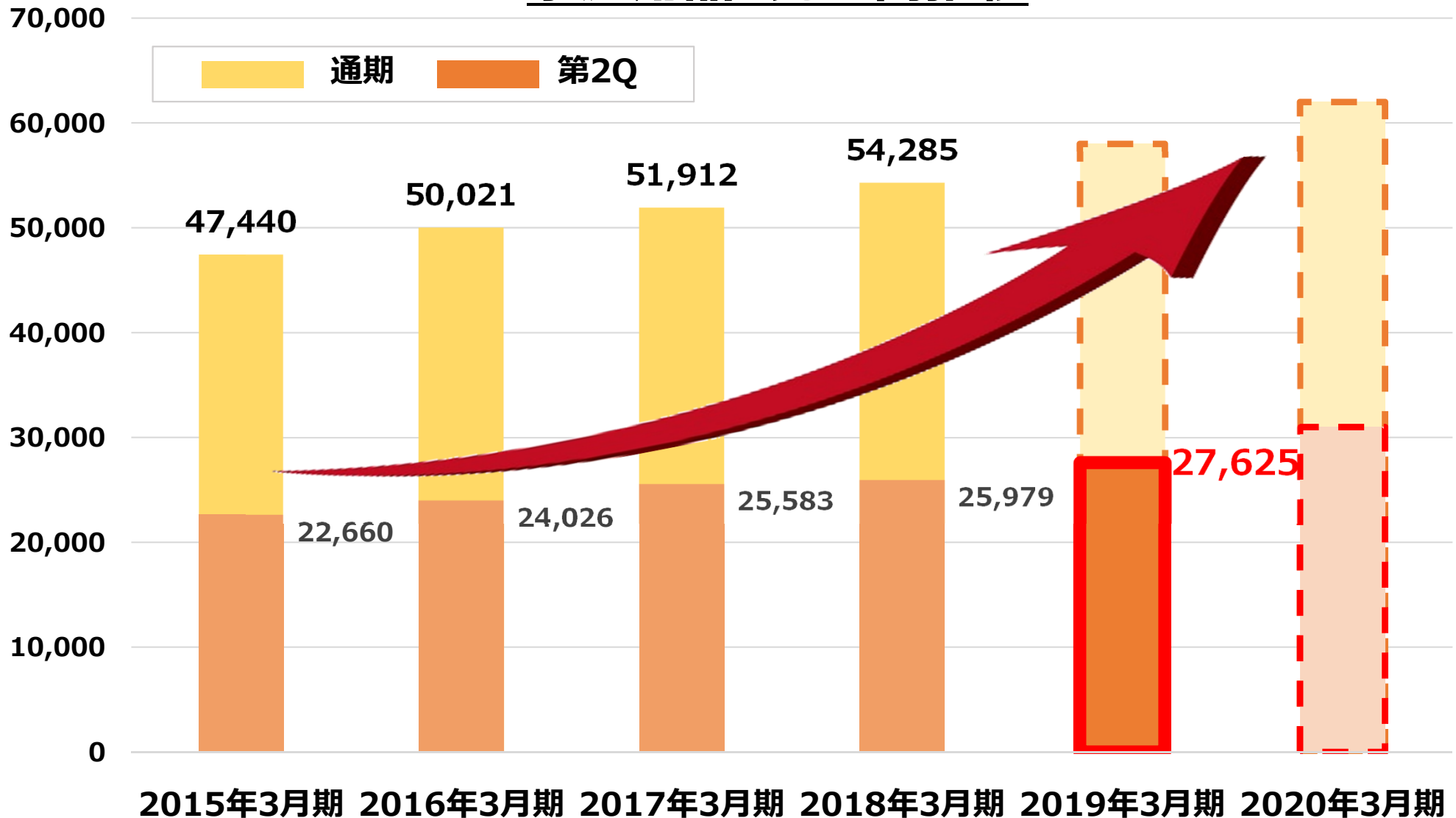
3年後H&Bカテゴリー売上高 2,600億円 を目指す



家庭用品カテゴリーの販売拡大

家庭用品 売上高推移

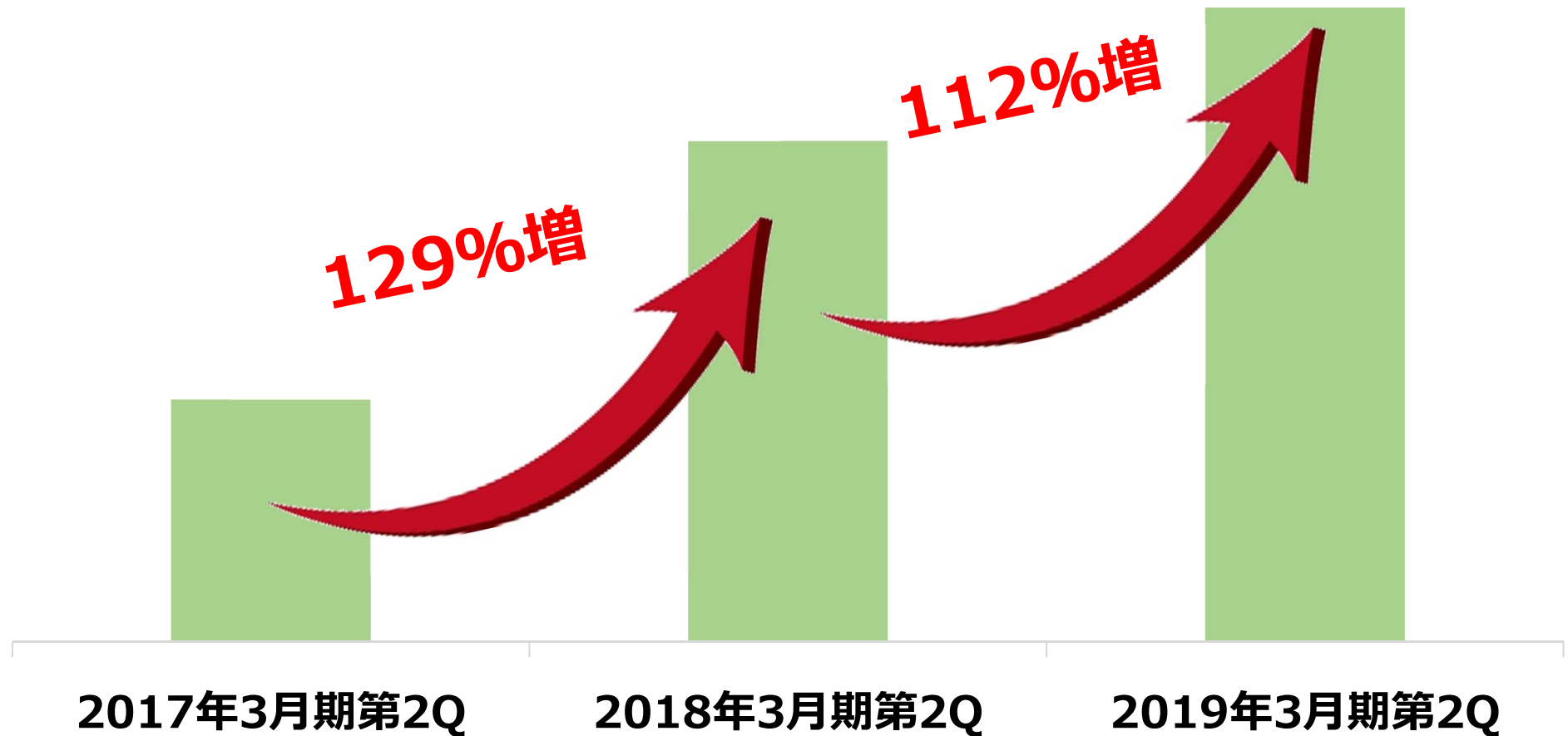
(単位：百万円)





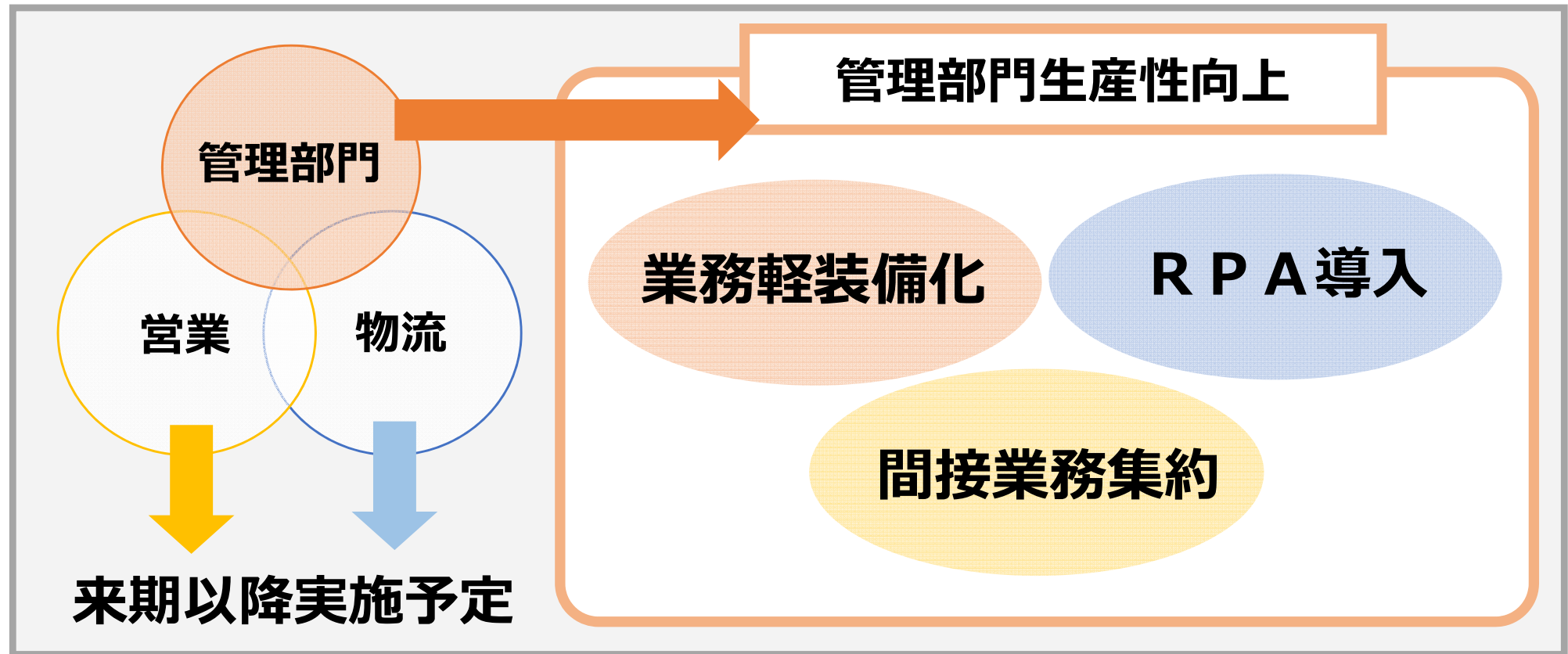
成長率の高いEコマース・海外事業に継続して注力

Eコマース・海外事業 合計売上高推移





システム導入により実施工数・作業時間を削減



150名分の人件費削減効果

退職者と採用のバランス、および全体配置を見直し



2018年7月 公募増資・転換社債発行

⇒ **約106億円**を調達

- ・ 日本全国を網羅する物流ネットワークの更なる深化を目指した国内物流拠点の再構築（首都圏物流構想）
- ・ 急成長するネットビジネスへの対応や、深刻化する人手不足対策の一環としての物流機能強化のための資金確保（庫内業務IT化・ロボティクス導入）
- ・ 資金調達手段の多様化
- ・ 当社株式の取引市場における流動性の向上、投資家層の拡大



CSR活動推進体制の整備

CSR活動の全体を総括するCSR本部設立により、経営層と現場へのタイムリーな情報共有が可能に。PDCAサイクルが効率的かつスピーディに働く。

社会貢献を強く意識した体制の強化および企業の持続的成長を図る。

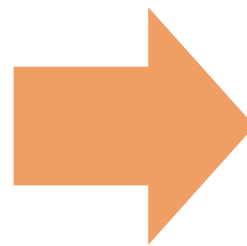


社用車をハイブリット車・環境配慮車へ切り替え

2021年9月までに、700台ある営業社用車を全てハイブリットカー・環境配慮車（EV含む）に切り替え。

環境配慮車の割合

2018年3月時点



2021年9月時点



ガソリン使用量 約45%削減

用紙調達基準の見直し

あらたグループ全体で、オフィス用紙や発行物の紙を
FSC認証紙・リサイクル100のものに今期中に切り替え。

今後もシステム導入
などによる継続的な
ペーパーレス推進により、
省資源化に貢献。



責任ある森林管理
のマーク

**2021年3月期におけるコピー用紙購入を
2018年3月期比35%削減**



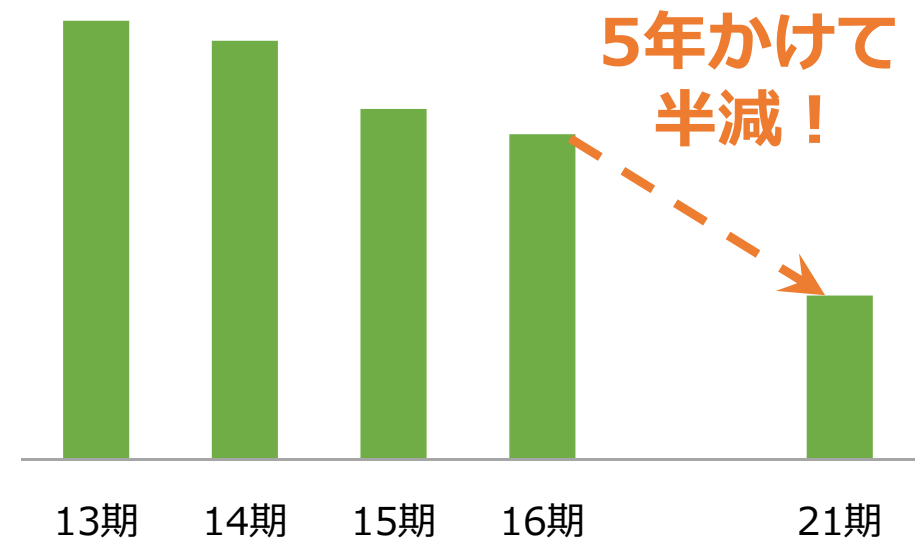
返品削減による廃棄物量削減

季節品等の返品を削減する取り組みを継続して実施。

返品数量を2023年3月期に
2018年対比半減

実現により返品を起因とする
廃棄物を5年間で2,000トン削減し、
返品輸送に関わるCO2排出量も
100トン低減となる見込み。

返品数量 推移



**2023年3月期における廃棄物量を
2018年3月期対比2,000トン削減**

環境省の推進する「3R」活動に賛同

あらたとして「Reduce」につながる商品の販促をメーカー様、小売業様と共同実施。



2018 選ぼう! 3R キャンペーン

2018年9月1日(土)~11月30日(金)

昨年より大幅に参加企業が増加。
今後も継続して実施を予定。



2017年⇒ メーカー5社 小売業23社 約1,100店舗

2018年⇒ メーカー11社 小売業74社 約4,700店舗



- **本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。**
- **ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。**

IRに関するお問合せアドレス

kouhou-honsya@arata-gr.jp